

## ⑧土木費

08-01-01-455

土木管理経費

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。  
事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇ 執行状況及び成果等

平成27年度から令和元年度の5か年で整備した道路台帳をはじめとする各種基礎資料を随時最新のデータに更新した。道路台帳については道路法に基づく市道路線認定、認定廃止、区域変更等の各告示に基づき道路台帳図及び各種調書を適切に更新し、各種基礎資料についても必要なものについて電子データ化を行い、地理情報管理システムの搭載データの更新を行った。これらによる効果として苦情・要望対応及び道路情報の提供等、迅速な住民サービスが可能となっているとともに、地方交付税基礎数値をはじめとして国や東京都に提出が義務付けられている各種調書の基礎となるデータの作成が適切に行えた。また、地理情報管理システムの情報を常に更新することにより、職員相互の情報共有が確実に進められ、道路の適正管理に活用されている。

なお、地理情報管理システムは道路交通課以外の複数の課においても利用が広がってきており、関連する利用課の職員も含め情報共有が進められている。

令和4年度については、1月にLGWAN-ASPサービスへのシステム移行が行われ使用料が発生したことにより、役務費が前年度より増加している。

事業費の内訳

(円)

名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
需用費	573,288	405,863	383,946	339,515	330,841	
役務費	15,546	15,546	15,546	15,546	1,368,666	
委託料	道路基礎資料 電子化業務委託	23,133,769	17,568,303	—	—	—
	道路基礎資料 更新業務委託	—	—	8,965,932	12,619,971	16,413,313
使用料及び賃借料	230,688	232,824	234,960	230,560	224,400	
備品購入費	—	167,832	—	—	—	
負担金・補助及び交付金	77,000	77,000	77,000	7,000	7,000	
合計	24,030,291	18,467,368	9,677,384	13,212,592	18,344,220	

08-02-01-458

道路橋りょう管理経費

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。  
事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇ 執行状況及び成果等

道路の整備保全上必要である資材や燃料、光熱水費のほか、道路管理や設計等に必要なコンピュータシステムや機械設備の保守点検、道路施設に関する各種保険等、安全で快適な道路環境の整備を行い、道路機能を保持した。

事業費の内訳

名 称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
需用費		2,722,252	3,102,837	2,750,226	2,907,793	2,875,277
役務費		505,371	495,492	568,045	682,250	1,216,348
委託料		6,178,896	6,197,948	6,139,980	6,158,680	9,106,680
内 訳	昇降機保守点検委託料	1,989,360	2,007,780	2,026,200	2,026,200	2,026,200
	パーソナルコンピューター 保守点検委託料	132,192	95,256	—	—	—
	土木設計積算システム サポート業務委託料	1,706,400	1,722,200	1,719,300	1,738,000	1,738,000
	昇降機防犯監視業務 委託料	2,350,944	2,372,712	2,394,480	2,394,480	2,394,480
	調査業務委託料	—	—	—	—	2,948,000
使用料及び賃借料		2,086,095	2,099,169	1,578,975	1,560,495	1,542,015
備品購入費		—	2,191,341	66,550	—	40,700
負担金・補助及び交付金		677,860	700,700	624,700	378,810	378,810
補償補填及び賠償金		—	—	177,183	0	0
合 計		12,170,474	14,787,487	11,905,659	11,688,028	15,159,830

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-01-461

街路灯維持管理経費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	<b>E2</b>	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	<b>3</b>	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	<b>E1-2</b>	<b>F1-2</b>	-	-	-
関連する個別計画	多摩市街路樹よくなるプラン改定版 多摩しみどりと環境基本計画					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成9年度に策定した「街路灯電気料削減基本計画」に基づき、光効率の良いタイプの灯具に交換し、電気料や維持費の削減を図ってきた。また、平成19年度から照度アップ工事を実施し、平成25年度には、街路灯のLED化方針を決定し、街路灯のLED化を進めてきた。平成29年度には、ESCO事業で、一括LED化をして更なる省エネ・省コスト化を図っている。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	道路を通行する上で、交通安全及び防犯上の観点から、道路を安全・安心に利用できるよう夜間の道路環境の保全に努める。 平成30年度から取り組んでいる、ESCO事業対象外のナトリウム灯のLED化を、計画的に実施する。
予算の執行方法	街路灯の維持補修、改良工事の実施、及び街路灯電気料の支払。
事業の成果	ESCO事業による街路灯LED化事業業務委託で、適正な照度により夜間の安全・安心な道路空間を確保した。また、電気料金や修繕費等のコスト削減、CO2排出量を削減した。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	<b>131,366</b> 千円	<b>145,200</b> 千円	<b>138,989</b> 千円	<b>127,644</b> 千円	<b>150,766</b> 千円	
事業にかかる実コスト	<b>136,826</b> 千円	<b>150,779</b> 千円	<b>144,430</b> 千円	<b>133,028</b> 千円	<b>155,746</b> 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	27,000 千円	31,000 千円	30,000 千円	26,000 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	104,366 千円	114,200 千円	108,989 千円	101,644 千円	150,766 千円
間接経費						
職員人件費	5,460 千円	5,579 千円	5,441 千円	5,384 千円	4,980 千円	
《従事人員数》	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.60 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	街路灯のLED化率	目標	10,244/10,824基 95%	10,366/10,825基 96%	10,480/10,843基 97%
		結果	10,275/10,825基 95%	10,392/10,843基 96%	—
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、成果指標を設定することはなじまない	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 メ 的	財 一 源 般		
A	B	C	イ	平成29年度からのESCO事業導入により、LED化率は大幅に向上するが、市民サービスの維持向上を図るため、事業者への指導を強化するとともに、ESCO事業終了後の街路灯環境のビジョン構築を図るための調査研究が必要である。

08-02-01-461	街路灯維持管理経費
--------------	-----------

◇ 執行状況及び成果等

ESCO事業及び街路灯改修工事などでナトリウム灯のLED化工事を計画的に進め、道路を安全・安心に利用できるよう夜間の道路環境を保全した。

街路灯のLED化率及び業務委託料、工事請負費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
LED化率	90%	92%	94%	95%	96%
業務委託料 (円)	60,132,132	64,293,084	64,399,716	64,399,716	64,399,716
工事請負費 (円)	34,452,474	35,974,992	38,375,529	31,518,315	37,110,802

事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-02-465	道路維持事業
--------------	--------

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち					
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり				
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新				
	関連する施策		-	-	-	-	-
関連する個別計画	-						
関連する報告書など	-						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	道路の清掃業務、側溝及び集水樹浚渫業務、産業廃棄物処分業務、維持補修工事などを継続して行うことにより、道路の安全確保を行っている。						

◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	道路の破損箇所の補修や、清掃等を適切且つ継続的に行うことで、車両や歩行者の円滑な通行と交通安全の確保及び道路環境の向上を図る。 道路のパトロールや、清掃などを継続的に行い、破損箇所や不良箇所の改善を速やかに実施し、車両及び歩行者の円滑な通行と交通安全の確保を継続させる。	
予算の執行方法	道路の清掃業務委託、側溝及び集水樹浚渫業務委託、産業廃棄物処分業務委託、維持補修工事などの実施。	
事業の成果	道路施設の不良箇所を可及的速やかに改善し、歩行者・自転車・車両の安全かつ円滑な通行を確保した。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	157,558 千円	175,304 千円	172,909 千円	166,884 千円	171,550 千円	
事業にかかる実コスト	181,174 千円	197,612 千円	197,330 千円	186,808 千円	186,023 千円	
内 訳	直接 経費	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		都支出金	0 千円	642 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
		その他特定財源	48 千円	57 千円	219 千円	43 千円
		一般財源	157,510 千円	174,605 千円	172,690 千円	166,841 千円
	間接 経費	職員人件費	17,389 千円	14,418 千円	18,081 千円	14,163 千円
	《従事人員数》	2.07 人	1.68 人	2.16 人	1.71 人	
	その他の人件費	6,227 千円	7,890 千円	6,340 千円	5,761 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	道路等の破損補修件数	目標	200件	200件	200件
		結果	159件	158件	-
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、成果指標を設定することはなじまない	目標	-	-	-
		結果	-	-	-

特記事項	-
------	---

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
B	A	A	イ	道路施設の老朽化により多発している道路の破損箇所の補修や、清掃などを適切且つ継続的に行うことで、車両や歩行者の円滑な通行と交通安全の確保及び道路環境の向上を図っていく。多摩ニュータウン整備から40年以上経過し、自転車歩行者専用道路の全体的な補修が必要となっている。

08-02-02-465	道路維持事業
--------------	--------

◇ 執行状況及び成果等

道路等の破損箇所は、舗装補修工事(債務負担行為)、道路維持補修工事及び道路補修工事(単価契約)などで継続的に実施し、歩行者、自転車及び車両の安全かつ円滑な通行を確保した。

道路等の破損補修件数及び工事請負費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補修件数	241件	227件	193件	159件	158件
工事請負費 (円)	113,524,208	115,630,129	109,812,540	102,379,076	105,986,500

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-02-466

多摩センター共同溝維持管理経費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・共同溝の整備等に関する特別措置法及び同法施行令			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	—				
関連する個別計画	—					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和63年10月、旧住宅都市整備公団より道路施設として引継ぎ、平成10年度に共同溝整備計画を変更し、電力及び通信の増設を行った。 また、平成15年度に長期修繕計画を策定して、計画的な維持管理を実施してきたが、計画策定から10年以上が経過したことから、新たに令和3年度から令和12年度までの長期修繕計画の見直しを行い、より効率的・効果的な維持管理を行っている。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	ライフラインの設置等に係る道路掘削を不要とし、道路構造を保全すると共に、安全確実なライフラインの確保を図るため整備された共同溝の適切な管理により機能を維持することで、良好な市民サービスの提供を行う。長期修繕計画に基づき、躯体補修をはじめ、温度検出器、灯具及び電極棒等の附帯設備の取替えを行い、共同溝の機能を維持する。	
予算の執行方法	修繕料、保険料、設備機器保守、光熱水費、点検委託料、附帯設備等維持補修工事の実施。	
事業の成果	長期修繕計画に基づき躯体補修をはじめ、温度検出器、灯具及び電極棒等の附帯設備の取替えを行い、共同溝の機能を維持向上させることにより、共同溝機能の安定化を図り、ライフラインの機能停止、喪失を防止した。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	39,748 千円	34,563 千円	28,092 千円	33,065 千円	43,008 千円
事業にかかる実コスト	44,284 千円	38,425 千円	31,859 千円	35,798 千円	45,083 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	32,656 千円	28,404 千円	23,077 千円	25,281 千円
	一般財源	7,092 千円	6,159 千円	5,015 千円	7,784 千円
	間接経費				
職員人件費	4,536 千円	3,862 千円	3,767 千円	2,733 千円	
《従事人員数》	0.54 人	0.45 人	0.45 人	0.33 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	共同溝内巡視点検回数	目標	12回	12回	12回
		結果	12回	12回	—
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、成果指標を設定することはなじまない	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

成果 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 ズ 的	財 一 源 般		
N	B	B	イ	共同溝本体の老朽化が進行していく事から、令和元年度に実施した点検調査結果を踏まえ見直した新たな長期修繕計画に従って、計画的に設備更新を行いながら長寿命化を図っていく。



08-02-02-466

多摩センター共同溝維持管理経費

◇ 執行状況及び成果等

多摩センター共同溝の適正な維持管理を行うため、共同溝本体、排水設備、換気設備などの保守点検を実施し、ライフラインの安全性を確保した。

共同溝内巡視点検回数及び共同溝本体・設備保守委託料

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
巡視点検回数	12回	12回	12回	12回	12回
保守委託料 (円)	6,912,000	7,541,220	7,511,900	7,511,900	8,195,000

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-02-467

街路樹等維持管理経費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	E2-2	F1-1	-	-	-
関連する個別計画	多摩市街路樹よくなるプラン改定版 多摩しみどりの基本計画 多摩しみどりのルネッサンス					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成20年度に街路樹維持管理方針となる多摩市街路樹よくなるプラン(街路編)を策定し、平成30年度に多摩市街路樹よくなるプラン改定版として見直しを行った。プランに基づき、平成24年度より沿道環境を整えるため間引きや剪定等を実施し、支障箇所の改善を図ってきた。また、平成26年度より枯れ枝などによる事故を防ぐために、枯れ木、枯れ枝などの撤去を進め、平成28年度から建築限界を確保するための下枝剪定を進めている。 なお、平成22年度から管理業務委託の契約方法を3年間の複数年契約としている。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	「市民が誇る、美しいみどりの“みち”」を目指して、多摩市街路樹よくなるプラン改定版に基づき、道路通行の安全や沿道住環境に支障を及ぼす街路樹の剪定・伐採や間引き、街路樹環境の更なる改善を目指した更新等を実施する。安全な通行の確保に向けた適切な管理をしながら、安心・快適なみちづくり、今後を見据えた持続可能なみどりの形成を図る。	
予算の執行方法	街路樹等の剪定・草刈・除草・枯木及び枯枝の撤去を行うと共に、支障改善を目的とした間引き等を委託業務により実施。	
事業の成果	信号機の視認障害、街路灯の照度障害などの交通支障、沿道住居等への日照支障等の改善や、緑量の適正化等を進めることにより、交通安全や防犯等の向上を図った。また、更新を含む試験的な取り組みを進めることにより、安全・快適で健全な街路樹空間を構築した。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	184,706 千円	215,606 千円	212,497 千円	210,311 千円	252,817 千円
事業にかかる実コスト	206,095 千円	233,826 千円	229,947 千円	230,839 千円	277,249 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	3,435 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	8,000 千円	40 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	176,706 千円	212,131 千円	212,497 千円	210,311 千円
間接経費					
職員人件費	11,425 千円	11,071 千円	12,054 千円	15,240 千円	
《従事人員数》	1.36 人	1.29 人	1.44 人	1.84 人	
その他の人件費	9,964 千円	7,149 千円	5,396 千円	5,288 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	剪定本数、間伐本数	目標	837本(剪定) 120本(間伐)	860本(剪定) 120本(間伐)	860本(剪定) 120本(間伐)
		結果	837本(剪定) 318本(間伐)	860本(剪定) 294本(間伐)	—
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、成果指標を設定することはなじまない	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

—

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 ズ 的	財 一 源 般		
A	A	A	I	老木化・大径木化した街路樹が、安全で安心な通行や良好な居住環境の障害となるケースが増加してきている。街路樹の適正な育成管理を行っていくための管理費用は増加しつつあり、財源確保や経費の抑制も課題となっているため、継続的に育成管理できる街路樹環境への更新が必要である。

08-02-02-467	街路樹等維持管理経費
--------------	------------

◇ 執行状況及び成果等

街路樹の管理にメリハリをつけ、街路樹環境の質を上げ、健全な街路樹空間を形成していくため、街路樹の剪定・伐採、間引きなどを業務委託により実施した。

街路樹の剪定・間伐本数及び業務委託料

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
剪定本数	771本	837本	837本	837本	860本
間伐本数	295本	386本	279本	318本	294本
業務委託料 (円)	183,937,513	215,405,549	212,296,948	210,111,475	251,622,411

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-03-468	道路整備事業
--------------	--------

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・無電柱化の推進に関する法律			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	E2-2	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市地域防災計画 多摩市無電柱化推進計画 多摩市舗装更新計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成27年度に従前の「多摩市道路整備計画」を見直し、ニュータウン地区も含めた包括的な「多摩市道路整備計画」を策定している。この計画に基づき、平成29年度には重要整備路線の調査を行い、今後の街づくりとの整合を図った。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	<p>市道の計画的な道路網等の整備により、市民生活の移動に関する快適性や安全性を向上させるとともに、円滑で快適な道路空間を創出させることを目的とする。</p> <p>多摩市道路整備計画に基づき、市道2-1号幹線(中和田通り)の道路拡幅工事、市道1-2号幹線(宮下通り)・市道1-28号線の用地買収事業、市道2-3号幹線(和田中学通り)の設計、市道2-4号幹線(和田原通り)の道路拡幅事業の事業化を検討する。また、多摩市舗装更新計画に基づき、東京都の補助事業を活用し市内主要幹線等の舗装打換え工事を実施し、地権者からの寄付による狭隘道路整備事業を実施する。</p> <p>さらに、市道1-3号幹線(明神橋通り)では、国や東京都が推進する無電柱化整備事業を実施する。また、パルテノン多摩、多摩中央図書館、多摩中央公園の改修、整備と合わせ、市道5-35号歩線(レング坂)の改修事業を継続する。加えて、第二期諏訪永山地区整備計画(住宅市街地総合整備事業)に基づき、市道4-11、4-26号歩線(諏訪永山ふれあいの道)の再整備を行う。</p>	
予算の執行方法	測量・調査等業務委託料、工事請負費、用地買収費等として、適切に積算等を行い、契約した上で、財源として補助金等を獲得しながら事務執行する。	
事業の成果	舗装の打換により、車両の通行に伴う振動や騒音が軽減され、沿道居住者等の快適性が向上した。また、拡幅整備用地の取得を進め、事業の進捗を図ることにより、歩行空間が確保され、通行者の安全性が向上した。	

## ◇事業にかかる費用

区分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	215,283	201,965	201,783	346,096	285,116	
事業にかかる実コスト	237,737	227,712	226,896	376,741	316,570	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	8,000	1,600	3,280	0	0
	都支支出金	55,242	98,100	111,998	52,074	44,221
	地方債	0	0	0	100,000	0
	その他特定財源	342	0	0	0	0
間接経費						
職員人件費	21,170	25,747	25,113	30,645	31,454	
《従事人員数》	2.52	3.00	3.00	3.70	3.79	
その他の人件費	1,284	0	0	0	0	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	道路拡幅整備・道路改良・ユニバーサルデザイン関連工事の実施	目標	拡幅工事2路線 改良工事7路線	拡幅工事2路線 改良工事7路線	拡幅工事8件 改良工事7件
		結果	拡幅工事6路線 改良工事8路線	拡幅工事4件 改良工事10件	—
成果指標 (アウトカム)	ユニバーサルデザインブロック設置路線 延長割合 ※	目標	54%	57%	60%
		結果	54%	56%	—

特記事項	—
------	---

## ◇自己点検

成果指標の推移	今後の見通し		方今向後の	今後の課題や方向性に関するコメント
	数量的	財源一般		
B	B	A	イ	多摩市道路整備計画に基づく重要整備路線の整備を進めるためには、沿道地権者の事業への理解と用地買収への協力が必要不可欠であり、合意形成に時間を要している状況である。事業の実施に当たっては、交付金や都市計画税の充当など、財源を確保しながら、着実に道路整備事業を進めていく。

08-02-03-468

道路整備事業

◇ 執行状況及び成果等

◎ 活動指標(アウトプット)

道路拡幅事業・道路改良・ユニバーサルデザイン関連工事の実施件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
路線・件数	拡幅工事6路線 改良工事11路線	拡幅工事1路線 改良工事9路線	拡幅工事1路線 改良工事7路線	拡幅工事6路線 改良工事8路線	拡幅工事4件 改良工事10件
工事金額(円)	拡幅 10,155,024 改良 109,325,160	拡幅 2,970,000 改良 118,553,960	拡幅 847,000 改良 119,531,500	拡幅 19,574,379 改良 282,165,600	拡幅 32,098,000 改良 216,968,200

※令和4年度から単位を件数に変更した。

◎ 成果指標(アウトカム)

ユニバーサルデザインブロック設置路線(延長割合)

※UDブロックの設置は市内幹線道路工事や舗装打ち換え工事に併せて整備しており、工事金額については、改良工事費の中に含まれている。

全体としては延長約49km設置する計画であり、令和17年度の完成を目標としている。

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
45%	49%	52%	54%	56%

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-04-472 交通安全施設整備事業

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市交通マスタープラン					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	老朽化または破損した交通安全施設を更新すると共に、交通安全施設の整備を行っている。また、区画線の更新について、平成28年度に市内全域を調査して計画的に実施している。通学路の安全点検では、抽出された要対策箇所に対応を図り、令和元年度には関係者合同による園路点検を実施し、危険箇所の対策を講じた。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和4年度の目標	交通安全施設の整備や維持管理を継続し、円滑な道路交通と交通安全の確保を図る。特に、通学路や園路上の課題箇所については、速やかな対応を行い、児童・生徒・園児等の通行の安全を確保する。
予算の執行方法	交通安全施設の消耗品の購入、交通安全施設設置工事の実施。
事業の成果	区画線やガードパイプ等の交通安全施設の整備・更新やグリーンベルト等の整備を行うことにより、通学路等の安全性の向上を図った。

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)
決算額(単位:千円)	19,511 千円	43,847 千円	40,320 千円	18,683 千円	18,936 千円
事業にかかる実コスト	26,627 千円	52,057 千円	47,538 千円	25,551 千円	30,903 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	20,000 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	19,511 千円	23,847 千円	40,320 千円	18,683 千円
間接経費					
職員人件費	5,040 千円	4,635 千円	4,520 千円	4,224 千円	9,212 千円
《従事人員数》	0.60 人	0.54 人	0.54 人	0.51 人	1.11 人
その他の人件費	2,076 千円	3,575 千円	2,698 千円	2,644 千円	2,755 千円

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	道路の安全施設の設置・修繕件数	目標	20件	20件	20件
		結果	13件	19件	-
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、成果指標を設定することはなじまない	目標	-	-	-
		結果	-	-	-

特記事項

-

## ◇自己点検

の 成 果 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 メ 的	財 一 源 般		
N	A	A	I	基準を満たさない横断抑止柵や防護柵の取替えやカーブミラーなどの老朽化した交通安全施設の更新などを計画的に実施する必要があり、更新に向けての調査や計画の策定を行う必要がある。

08-02-04-472	交通安全施設整備事業
--------------	------------

◇ 執行状況及び成果等

良好な交通環境を確保するため区画線の敷設、道路反射鏡等の設置を行った。

道路の安全施設の設置・修繕件数及び工事請負費

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
設置・修繕件数	19件	20件	19件	13件	19件
工事請負費 (円)	18,673,470	43,027,580	39,359,265	18,018,000	18,080,260

# 事業カルテ ( 4年度決算 )

道路交通課

08-02-05-473

橋りょう維持管理経費

## ◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路交通法・河川法・道路構造令・道路橋示方書			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	E2-3	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市橋梁長寿命化修繕計画 多摩市地域防災計画					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	既設橋梁の定期点検は、平成2年度より5年毎を基本に調査し、点検結果に応じた橋梁の補修・補強工事を実施していたが、平成24年度に予防保全型の管理手法とした「多摩市橋梁長寿命化修繕計画」を策定、令和2年度に予防保全型と事後保全型の管理区分について明確化し、短期計画及び中長期計画を含め修繕計画の改定を行い、橋梁の健全度向上を図っている。また、平成26年度の道路法改正により橋梁定期点検が法定化され、令和元年度からは改定された「道路橋点検要領」に基づき5年に一度実施している。					

## ◇令和4年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和4年度の目標	計画的な橋梁の維持更新、Ⅲ判定橋梁の局所改良を実施することで、橋梁の長寿命化を図る。橋梁定期点検を実施し、橋梁の健全度を把握するとともに、耐震補強等工事、補修工事を実施し、橋梁の耐震性及び健全度の向上を図る。また、点検結果を反映・更新し、令和2年度に改定した「多摩市橋梁長寿命化修繕計画」の短期計画及び中長期計画について見直しを行う。	
予算の執行方法	既設橋梁定期点検、耐震補強・補修設計委託、既設橋梁耐震補強・補修工事、橋梁補修工事(単価契約)の実施。	
事業の成果	計画的に耐震補強等工事、補修工事を確実に実施し、橋梁の長寿命化を図り、耐震性・健全度を向上させ、基盤施設の安全性を確保した。	

## ◇事業にかかる費用

区 分	平成30年度(決)	令和元年度(決)	令和2年度(決)	令和3年度(決)	令和4年度(決)	
決算額(単位:千円)	277,420 千円	195,286 千円	261,318 千円	236,675 千円	254,144 千円	
事業にかかる実コスト	287,669 千円	203,697 千円	269,187 千円	244,461 千円	262,858 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	74,500 千円	26,380 千円	79,400 千円	63,131 千円	25,305 千円
	都支出金	51,250 千円	10,925 千円	32,700 千円	125,151 千円	10,352 千円
	地方債	0 千円	62,200 千円	51,300 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	12,100 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	151,670 千円	95,781 千円	85,818 千円	48,393 千円	218,487 千円
間接経費						
職員人件費	10,249 千円	8,411 千円	7,869 千円	7,786 千円	8,714 千円	
《従事人員数》	1.22 人	0.98 人	0.94 人	0.94 人	1.05 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

## ◇成果指標

指標の種類	指標について		令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動指標 (アウトプット)	耐震補強・補修工事実施橋数	目標	2橋	2橋	2橋
		結果	2橋	3橋	—
成果指標 (アウトカム)	Ⅲランク橋梁の改善件数 ※	目標	6橋	1橋	2橋
		結果	6橋	2橋	—

### 特記事項

※定期点検で機能が良好に保全されていないと評価されているⅢ判定橋梁の改善件数を成果指標とすることにより、橋梁の健全度向上に向けての指標の明確化が可能となる。

## ◇自己点検

の 成 果 推 移 標	今後の見通し		方 今 向 後 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	A	A	イ	大規模橋梁や構造的に特殊な橋梁の耐震化工事・補修工事を実施するに際しての基準やノウハウを取得するため、更なる情報収集及び調査研究が必要である。また、平成26年度の橋梁定期点検の法定化に伴い、改定した修繕計画へ最新の点検結果を反映し、維持管理を行う必要がある。



08-02-05-473	<b>橋りょう維持管理経費</b>
--------------	-------------------

◇ 執行状況及び成果等

既設橋梁の維持管理のため、補修工事や定期点検を行った。

年 度	既設橋梁点検・補修補強設計		橋梁補強・補修工事		合計（円）
	内容	金額（円）	内容	金額（円）	
30	健全度調査（31橋）	10,067,490	補強・補修工事（5橋）	227,179,080	277,101,383
	補修等設計（2橋）	19,980,000	橋梁補修工事	19,874,813	
元	健全度調査（29橋）	10,885,600	補強・補修工事（2橋）	140,310,500	195,072,865
	補修等設計（3橋）	23,938,200	橋梁補修工事	19,938,565	
2	健全度調査（27橋）	10,259,700	補強・補修工事（2橋）	194,439,300	248,630,658
	補修等設計（2橋）	7,009,860	橋梁補修工事	36,921,798	
3	健全度調査（39橋）	13,404,600	補強・補修工事（2橋）	168,691,600	236,674,539
	健全度調査（1橋）	1,133,000	橋梁補修工事	27,049,739	
	補修等設計（3橋）	26,395,600			
4	健全度調査（42橋）	29,692,300	補強・補修工事（3橋）	173,717,600	254,144,387
	ボックスカルバート （12箇所）	8,734,000	橋梁補修工事	22,194,987	
	補修等設計（1橋）	19,805,500			